

一般財団法人南アルプスみらい財団 令和5年度事業報告

事業計画に基づき、南アルプスの現場巡視、南アルプスユネスコエコパーク関係者との意見交換、防鹿柵設置等の環境保全活動及び普及啓発等の諸事業を実施した。

【事業の構成】

- 1 保全・活用促進事業
- 2 法人管理事業
- 3 受託事業

1 保全・活用促進事業

(1) 現場巡視及び調査事業

ア パトロール業務

南アルプスユネスコエコパーク核心地域を中心に、自然環境及び登山道、山小屋等の観光施設に関する現地情報の収集活動を行った。併せて、登山者や山小屋管理者と意見交換した。

活動期間	活動場所	日数
令和5年4月29日	鳥倉林道ゲートー三伏峠	1日
令和5年5月5日から6日まで	旧木沢小学校、芝沢ゲートー聖平	2日
令和5年5月28日	鳥倉林道ゲートー三伏峠	1日
令和5年6月5日から6日まで	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼小屋ー茶臼岳	2日
令和5年6月17日から19日まで	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼岳登山道ー横窪沢小屋	3日
令和5年6月21日から23日まで	榎島ー千枚岳ー悪沢岳ー荒川小屋ー赤石岳	3日
令和5年6月29日から30日まで	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼小屋	2日
令和5年7月5日から8日まで	仙丈ヶ岳ー甲斐駒ヶ岳	4日
令和5年7月5日から8日まで	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼岳ー光岳	4日
令和5年7月11日から12日まで	鳥倉林道ゲートー三伏峠	2日
令和5年7月15日から16日まで	聖沢登山口ー聖平	2日
令和5年7月19日から22日まで	榎島ー赤石小屋ー百間洞ー赤石避難小屋	4日
令和5年7月20日から26日まで	北沢峠ー北荒川岳ー熊の平ー間ノ岳ー農鳥岳	7日
令和5年7月26日	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼小屋	1日
令和5年7月30日から31日まで	駒鳥池駐車場ー荒川小屋	2日
令和5年8月4日	榎島ー赤石小屋	1日
令和5年8月10日から11日まで	聖沢登山口ー聖平	2日
令和5年8月17日	榎島ー鳥森山	1日
令和5年8月19日	鳥倉林道ゲートー三伏峠ー本谷山	1日
令和5年8月21日から23日まで	聖沢登山口ー聖平小屋ー聖岳	3日
令和5年8月28日から30日まで	広河原ー北岳ー農鳥岳ー奈良田	3日
令和5年9月1日から3日まで	榎島ー赤石小屋ー赤石岳	3日
令和5年9月9日から10日まで	鳥倉林道ゲートー三伏峠ー本谷山	2日
令和5年9月14日から15日まで	広河原ー北岳	2日
令和5年9月16日から17日まで	鳥倉林道ゲートー三伏峠ー塩見岳	2日
令和5年9月23日から24日まで	沼平ゲートー畑薙大吊橋ー茶臼小屋ー茶臼岳	2日
令和5年9月29日から10月1日まで	榎島ー荒川小屋	3日
令和5年10月2日から3日まで	聖沢登山口ー聖平	2日
令和5年10月11日	鳥倉林道ゲートー三伏峠ー烏帽子岳	1日
合 計		68日

その他、麓地域の地域資源を把握するため、関係者と現地視察を行った。

イ 情報提供業務

パトロール業務において収集した現地の植生、融雪状況及び風水害による被災状況等を行政機関や関係者に共有した。当該情報は、ニホンジカ対策や災害復旧に活用された。

また、情報管理や情報提供を効率的かつ効果的に実施するため、QGISを用いた地理情報を整理した。

(2) 自然環境保全事業

ア 防鹿柵管理業務

静岡県から令和5年度南アルプス高山植物保全対策業務を受託した他、同業務の実施に必要な雪融け時期の現地調査及び県内関係者による情報共有会議を2回（第1回：令和5年4月28日、第2回：令和6年3月7日）開催した。

イ 高山植物種子保存プロジェクト支援業務

プロジェクトに参画する高校生を対象に現地案内や講義を行った。また、有識者の情報をもとに、同プロジェクトの対象種である希少種の現地調査を実施し、アカイシリンドウ、サンプルリンドウ、オノエリンドウ、タカネマンテマの生息地を特定した。

ウ 環境保全活動参加促進業務

南アルプス高山植物保護ボランティアネットワークと連携し、令和5年度南アルプス高山植物保全対策業務における防鹿柵管理へのボランティアの参画を進め、延べ61人が活動に従事した。

また、南アルプス高山植物保護ボランティアネットワークとの協働により、県内高校山岳部による高山植物保全の取組を支援し、令和5年9月16日から17日までに高校生26人が参加した。

エ 企画提案業務

高山のお花畑のモニタリングを効率的かつ継続的に進めるため、情報共有体制の構築及び一般参画の推進に向けた取組（「お花畑みまもりプロジェクト」）を企画した。同企画について、南アルプスユネスコエコパーク3県10市町で構成するワーキンググループ会議で提案を行った。

(3) 利活用促進事業

ア 登山者等のニーズ把握業務

令和5年度南アルプスモデル推進業務を受託し、山小屋等利用者アンケートを実施した。

イ 南アルプス盛り上げプロジェクト実施業務

令和6年度に南アルプスがユネスコエコパーク登録10周年となることを契機として、地域の機運醸成のため、のぼり旗を制作し、行政機関や関係団体に配布した。

内 容	枚 数
「2024 登録10周年 南アルプスユネスコエコパーク」のぼり旗	150枚

また、山岳関係者によるトークイベントを実施した。

日 付	テーマ	登壇者	会 場	人 数
令和5年 6月10日	南アルプスの自然の魅力 と安全な登山	望月将悟氏（トレイルランナー） 滝浪大悟氏（登山ガイド）	シラトリ(株) 静岡ジャン ポ店 2階	63人
令和5年 6月17日	世界につながる ふるさ との山 南アルプス	大石明弘氏（登山家、財団テクニ カルアドバイザー）	好日山荘 静岡パルコ 店	21人

加えて、大井川を軸として南アルプスから駿河湾に至る流域全体の一体感の醸成をはかる「最初の一滴」事業の企画化を進めた。

ウ 交通アクセス改善検討業務

静岡県自然保護課が事務局を務める南アルプス交通アクセス改善検討会議に出席した。

日 付	会議名	会 場
令和5年8月7日	第2回南アルプス交通アクセス改善検討会議	静岡県庁
令和5年12月25日	第3回南アルプス交通アクセス改善検討会議	静岡県庁

エ 交流人口拡充促進業務

(ア) 親子参加型ツアーの開催

(公社) 静岡県観光協会の支援を得て、ツリークライミング®体験等を含む親子で参加できるツアーを造成し、令和5年8月26日から27日まで実施し、13人の参加があった。

(イ) 新しいツアー等造成支援

(公社) 静岡県観光協会が企画するヘリコプターで南アルプスにアクセスする登山ツアーの実証実験実施のため、現地情報の提供等の支援を行った。同実験は10月に実現し、静岡新聞において取り上げられた。(静岡新聞令和6年1月26日(金)朝刊「県観光協 9月から訪日客向け「ヘリハイキング」」)

(ウ) 環境貢献プログラムの実施検討

登山ツアーにおける環境貢献プログラムの実施に向け、山岳ガイドを交えた現地(聖岳)検討会を開催し、実行可能なプログラムの検討や課題の整理を行った。

(4) 普及・啓発事業

ア 情報発信業務

財団ホームページやSNSを活用して、南アルプスの情報を発信した。

発信媒体	投稿件数
財団ホームページ	活動記録10件、スポット紹介7件、イベントカレンダー(随時)
Facebook	22件
Instagram	22件

イ セミナー・連携イベント等実施業務

(ア) 協議会への参画

令和5年5月17日に開催された南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会の総会において、構成員として当財団の加入が認められた。

(ウ) 他団体との連携

南アルプスを応援する会が主催するレスキューポイント整備事業に参加した。また、川根本町が主催する川根トレイル整備事業に参加した。

(イ) 普及啓発活動の実施

令和5年度南アルプスモデル推進業務を受託し、南アルプスの魅力や価値の発信を行うとともに、自然環境保全活動への参画の普及啓発を行った。

日付	テーマ	対象者	会場	参加者数
令和5年 8月9日、 8月10日	オクシズの最奥への誘い～南アルプスユネスコエコパーク核心部への旅～	葵区魅力づくり事業「葵トラベラー井川編 夏の井川へGO」参加者	井川ビジターセンター	44人
令和5年 8月26日	ようこそ! 南アルプス	親子ツアー参加者	樫島	13人
令和5年 8月28日	南アルプスの今 未来に向けた取組の輪の拡大	登山者	樫島	19人
令和5年 9月1日	南アルプスの今 未来に向けた取組の輪の拡大	登山者	赤石小屋	18人
令和5年 11月5日	世界が認める「南アルプスユネスコエコパーク」! 魅力いっぱいの核心地域への誘い	井川マウンテンマラソン2023来場者	井川ビジターセンター	100人
令和6年 3月3日	世界が認める「南アルプスユネスコエコパーク」! 魅力いっぱいの核心地域への誘い	お茶の里ファミリーマラソン来場者	川根本町役場	100人
令和6年 3月16日、 3月17日	ユネスコエコパークをもっと知ろう 南アルプス登録10周年「ユネスコエコパークフェア」in 浜松市野	来店者	イオンモール浜松市野	400人

ウ 環境教育業務

ふじのくに地球環境史ミュージアム来訪団体及び学生を中心に、南アルプスの魅力等を伝える出前講座を開催した。

日付	テーマ	対象者	会場	受講者数
令和5年 4月27日	南アルプスについて	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	ふじのくに地球環境史ミュージアム	30人
令和5年 5月11日	南アルプスについて	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	ふじのくに地球環境史ミュージアム	30人
令和5年 5月18日	南アルプスを「みらい」へ	東京農業大学	ふじのくに地球環境史ミュージアム	127人
令和5年 6月16日	～ふるさと井川・川根本町が世界に誇る～ 南アルプスの魅力	井川小中学校、本川根中学校	本川根中学校	26人
令和5年 9月2日	南アルプスの生物多様性	田方農業高校(高山植物種子保存プロジェクト)	榎島	4人
令和5年 9月7日	一般財団法人南アルプスみらい財団の紹介	高齢者学級みのり大学西部学級	静岡市西部生涯学習センター	76人
令和6年 3月3日	連携により広がる見守りの輪、保全活動の輪	高山植物保護指導員	静岡県庁 21階 展望ロビー	50人

また、南アルプス地域に関する研修や視察等を行う団体等の支援を行った。

日付	内容	対象者	視察先等	人数
令和5年6月18日 6月19日	南アルプス麓地域視察	学術関係者	川根本町、井川、榎島(鳥森山)	2人
令和5年7月27日 7月28日	南アルプス麓地域視察	学術関係者	川根本町、井川	2人
令和5年7月30日 7月31日	南アルプス山岳地域視察	その他団体	千枚岳、丸山	3人
令和5年8月17日 8月18日	南アルプス麓地域視察	南アルプス学会関係者	川根本町、井川	1人
令和5年9月1日 9月2日	南アルプス山岳地域視察	学術関係者	千枚岳	2人
令和5年9月27日 9月28日	南アルプス麓地域視察	南アルプス学会関係者	井川	1人
令和5年10月14日 10月15日	南アルプス麓地域視察	観光関係者	井川、榎島	1人
令和5年11月14日	南アルプスに関する研修	その他団体	ふじのくに地球環境史ミュージアム	12人

2 法人管理事業

(1) 会議運営事業

財団の法人活動の方針を決定するため、理事会、評議員会、監事監査及び現地視察を開催した。

開催日	会議	会場
令和5年5月19日	監事監査	ふじのくに地球環境史ミュージアム3階会議室
令和5年6月9日	第1回理事会	書面
令和5年6月20日	第1回評議員会	グランシップ1002会議室
令和5年9月15日	現地視察	榎島、井川

令和5年9月29日から 令和5年9月29日まで	現地視察	樺島、千枚岳
令和5年10月30日	第2回理事会	ふじのくに地球環境史ミュージアム3階会議室
令和6年3月18日	第3回理事会	ふじのくに地球環境史ミュージアム3階会議室

(2) 総務関連事務事業

ア 法務関係事務

財団事務所の移転に伴う法人登記に係る法務手続、移転届及び異動届等について関係省庁の手続きを行った。また、適格請求書発行事業（インボイス）の登録を行った。

イ 会計関係事務

事務局長を会計責任者として会計処理を行った。また、静岡県南アルプスモデル推進事業費補助金の交付決定を受けた。

ウ 人事関係事務

(ア) 採用関係

令和5年4月1日付で企画総務課長1人とレンジャー1人を採用し、給与及び賞与の支給、福利厚生を整備、勤怠管理を行った。

また、令和6年4月1日付採用のため、職員選考委員会を設置し、レンジャーの採用試験を実施し、1人の採用を決定した。

(イ) 退職関係

令和5年10月30日付でレンジャー1人が退職したことに伴い、退職金の支給及び健康保険・厚生年金保険資格喪失手続を行った。

また、令和6年3月31日付で企画総務課長が定年退職することに伴い、退職金の支給及び健康保険・厚生年金保険資格喪失手続を行った。

(ウ) 労働災害関係

令和6年2月8日に企画総務課長が通勤途上で交通事故に遭ったことによる療養のため勤務が困難となったことから、同日から3月31日まで休業とする手続を行った。

エ 職員の安全対策及び技術向上関係事務

職員が山岳地域において安全に活動できる技術を身につけるため、一般財団法人南アルプスみらい財団レンジャー現場巡視活動等実施要領を策定し、有識者からの技術面での助言等を受けることができる体制を整えた。

また、動画等を用いた広報技術の向上を図るため、専門家による広報及び動画編集技術講習会を実施した。

加えて、職員の知見収集、人脈形成を図るため、交流会、研究会等への出席を促した。

日付	内容	場所
令和5年 4月7日	自然公園研究会「ヨーロッパアウトドアレクリエーションの持続可能性」	東京都 (東京農業大学)
令和6年 2月21日	森林由来のJ-クレジットの活用に向けた交流会	静岡市
令和6年 3月5日	自然公園研究会「保護と利用の好循環を生むための自然体験の計画と地域資源の確保・活用」	東京都 (日本交通公社)

(3) 事務所整備事業

現地活動拠点として、令和4年8月11日付で静岡市より南アルプス自然ふれあいセンター（静岡市葵区田代1301番1）の一部を借り受け、引き続き施設の管理を行った。また、事務所を令和5年4月1日付でふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区大谷5762）に移転した。

(4) 備品・物品管理事業

財団の現地活動用に車両2台をリースしたほか、効果的な普及啓発の実施のためVRゴーグルやレーザー彫刻機を調達し、備品台帳の整備し、その他の消耗品の調達等を併せて行った。

(5) 広報事業

財団を紹介するパンフレットの更新し、関係団体等との意見交換を通じて認知度向上に努めた。また、財団公式ロゴマークを制作し、ノベルティ等への活用によりPRにつなげている。

財団ロゴマーク	意匠意図
	Minami(南)とMirai(みらい)の頭文字Mを重ね、南アルプスの高い山、深い谷の連なりとともに、南アルプスに関わる人々が手を取り合い、よりよい未来に向けて歩みだす姿を表現している。

また、静岡大学に研究を依頼し、ライチョウに焦点を当てた南アルプスの普及啓発パンフレット「No One Will Be Left Behind」を制作した。

加えて、新聞記者の現地取材等に対応し、活動状況を情報発信した。

日付	掲載紙	タイトル等
令和5年5月1日	静岡新聞 (デジタル)	富士山、南アルプスの魅力紹介 静岡で企画展 登山装備も展示
令和5年5月10日	静岡新聞	赤石岳 滑落5日目 救出劇 悪天候で難航 避難小屋で過ごす
令和5年6月13日	静岡新聞	山岳レース4連覇 望月さんら 南アルプスの魅力紹介
令和5年6月17日	静岡新聞	南アルプス 共に守ろう 本川根中 井川小中 交流授業で自然学ぶ
令和5年9月20日	静岡新聞	大河の一滴 ここから 大井川源流 訪ね 南アルプスへ

3 受託事業

(1) 南アルプス高山植物保全対策業務

項目	内容
発注者	静岡県(くらし・環境部 環境局 自然保護課)
契約日	令和5年5月26日
契約金額	3,850,000円(内消費税相当額 350,000円)
委託期間	令和5年5月26日から11月30日まで
業務内容	
目的	南アルプス国立公園及び南アルプスユネスコエコパークの優れた自然景観と生物多様性を保全するとともに、適正な利用を図るため、以下の計画等に基づき、調査及び保全対策を実施する。 ・南アルプスニホンジカ対策方針(令和4年度改正、南アルプス自然環境保全活用連携協議会) ・生態系維持回復事業実施計画(令和3年度変更、静岡県) ・静岡県における南アルプスニホンジカ対策防鹿柵取組実績及び効果の検証・今後の取組方針(令和4年度策定、静岡県)
個別業務	(1) 植物相及び植生の監視 ア ニホンジカの影響を把握するための調査 イ 植生保全対策の実施効果を把握するための調査 (2) 植生保全対策の実施 ア 防鹿柵の整備(維持管理等)

	イ 植生保護柵の整備（維持管理等） (3) 方針書に係る現地検討及び事業実施計画案策定
--	--

(2) 南アルプスモデル推進業務

項目	内容
発注者	静岡県（くらし・環境部 環境局 自然保護課）
契約日	令和5年7月14日
契約金額	6,028,000円（内消費税相当額 548,000円）
委託期間	令和5年7月14日から令和6年3月22日まで
業務内容	
目的	ユネスコエコパークが持つ3つの機能及び本県が提唱する、科学的知見に基づき環境保全を進めながら利活用を促進する「南アルプスモデル」の実現を図るとともに、南アルプスをより良い形で次世代に引き継ぐことを目的に実施する。
個別業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域課題発掘業務 <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス来訪者および受入れに関わる地域関係者に関する実態把握 ・南アルプスの登山道管理実態の把握 2 普及啓発活動実施業務 <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスでの取組や魅力を発信する活動の実施 3 魅力発信動画制作業務 <ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信動画の制作

(3) 南アルプス登山道ピッチマップ制作支援業務

項目	内容
発注者	静岡県（スポーツ・文化観光部 観光交流局 観光政策課）
契約日	令和5年11月8日
契約金額	858,000円（内消費税相当額 78,000円）
委託期間	令和5年11月8日から令和6年3月22日まで
業務内容	
目的	南アルプス登山道の安全な利用のため、登山道のピッチごとの技術難易度を示したピッチマップ作成に向けた検討資料を作成し、関係者へ意見照会を行う。
個別業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 計画・準備 2 ピッチマップの素案作成 3 検討会の開催 4 意見のとりまとめ 5 打合せ